

令和6年度 学校評価書 (3点満点中2.5以上→A, 1.4以上→B, 1.4未満→C)

項目	評価の観点	児童の評価	保護者の評価	教職員の評価	地域関係者の評価
主体的・対話的で深い学び	1 支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践	クラス全体で、助け合ったり、協力したりして、学習や行事に取り組んでいる。	A 一人ひとりを認め合う学級・学校の集団づくりをめざしている。	A 支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践を進めている。	A 支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践を進めている。
	2 協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善	友だちと教え合ったり、相談し合ったりして勉強することに進んで取り組んでいる。	A 協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善に取り組んでいる。	A 協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善に取り組んでいる。	A 協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善に取り組んでいる。
	3 主体的・対話的で深い学びを追究する授業研究や研修会	—	A 主体的・対話的で深い学びを追究する授業研究や研修会を進め、授業の工夫・改善に取り組んでいる。	B 主体的・対話的で深い学びを追究する授業研究や研修会を進め、授業の工夫・改善に取り組んでいる。	A 主体的・対話的で深い学びを追究する授業研究や研修会を進め、授業の工夫・改善に取り組んでいる。
道徳教育の充実	4 生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動の実施	①思いやりや命の大切さについてよく学んでいる。 ②道徳の時間は自分のことや友だちのことを考えながら学習している。	A 生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動の実施を進めている。	B 生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動の実施を進めている。	A 生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動の実施を進めている。
	5 道徳の授業研究や資料の開発・整備・交流	—	—	B ものごとを様々な視点からとらえ考えさせる道徳科の授業・評価に関する研究を行っている。	B ものごとを様々な視点からとらえ考えさせる道徳科の授業・評価に関する研究を行っている。
	6 保護者等への道徳の授業公開	—	A 保護者等への道徳科の授業公開を行っている。	A 保護者等への道徳科の授業公開を行っている。	A 保護者等への道徳の授業公開を行い、道徳の授業の工夫・改善を進めている。
体力づくり	7 たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善	体育の授業や行事などは楽しく、進んで取り組んでいる。(普段の体育の授業、運動会など)	A たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善に取り組んでいる。(普段の体育の授業、運動会など)	B たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善に取り組んでいる。(普段の体育の授業、運動会など)	A たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善に取り組んでいる。(普段の体育の授業、運動会など)
	8 体力づくりを推進する運動実践	体力づくりに進んで取り組んでいる。(マラソン大会(12月実施)・なわとび大会(1月実施)など)	B 体力づくりのための運動に進んで取り組んでいる。(マラソン大会(12月実施)・なわとび大会(1月実施)など)	A 体力づくりのための運動に進んで取り組んでいる。(マラソン大会(12月実施)・なわとび大会(1月実施)など)	A 体力づくりのための運動に進んで取り組んでいる。(マラソン大会(12月実施)・なわとび大会(1月実施)など)
	9 体を動かす気持ちよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成	運動に進んで取り組んでいる。給食など、食事は好き嫌いなく食べるようにしている。	B 進んで体を動かそうとする意欲の育成や食育指導を進めている。	B 進んで体を動かそうとする意欲の育成や食育指導を進めている。	B 進んで体を動かそうとする意欲の育成や食育指導を進めている。
指導改善(組織的・計画的)	10 学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善	①間違えた所を分かるまで勉強する。 ②授業中話をしっかり聞いている。 ③進んで宿題や自主学習をしている。 ④読書に進んで取り組んでいる。 ⑤外国語に楽しく取り組んでいる。	B 学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善を進めている。(なのはなタイム・授業研究会・教科担任の授業など)	A 学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善を進めている。(なのはなタイム・授業研究会・教科担任の授業など)	A 学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善を進めている。(なのはなタイム・授業研究会・教科担任の授業など)
	11 教職員の指導力及び組織的な教育力の向上	—	B 教職員の指導力、情報活用能力、教育力の向上に取り組んでいる。	B 教職員の指導力及び組織的な教育力の向上を図っている。	A 教職員の指導力及び組織的な教育力の向上を図っている。
	12 働き方改革の取組と教育活動の質の改善	—	B 教育活動の質の向上を図りつつ働き方改革に取り組んでいる。	B 教育活動の質の向上を図りつつ働き方改革に取り組んでいる。	B 教育活動の質の向上を図りつつ働き方改革に取り組んでいる。
① 家庭・地域との連携	13 保護者の子育てに対する積極的な支援	先生と学校や家のことについてよく話をしている。	A 保護者の子育てに対する積極的な支援を進めている。(日頃の家庭連絡、教育相談SC、巡回訪問など)	B 保護者の子育てに対する積極的な支援を進めている。(日頃の家庭連絡、教育相談SC、巡回訪問など)	A 保護者の子育てに対する積極的な支援を進めている。(日頃の家庭連絡、教育相談SC、巡回訪問など)
	14 保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用	①上田上の地域へ出かける学習に進んで取り組んでいる。 ②お家の人は、学校でのことをよく知っている。	A 保護者・地域との交流や人材活用で体験活動(お話し会、昔遊び、町探検、昔調べ、菜の花づけ、みそづくり、田んぼ、紙漉など)を充実させ情報発信している。(ホームページ、学校便り、学校公開、参観、懇談会など)	A 保護者・地域との交流や人材活用で体験活動(お話し会、昔遊び、町探検、昔調べ、菜の花づけ、みそづくり、田んぼ、紙漉など)を充実させ情報発信している。(ホームページ、学校便り、学校公開、参観、懇談会など)	A 保護者・地域との交流や人材活用で体験活動(お話し会、昔遊び、町探検、昔調べ、菜の花づけ、みそづくり、田んぼ、紙漉など)を充実させ情報発信している。(ホームページ、学校便り、学校公開、参観、懇談会など)
	15 防災教育の推進と安心・安全な学校づくり	①火事や地震の時、どうしたらよいか知っている。(避難訓練、引き渡し訓練など) ②外から帰ったら手洗いうがいをする。	A 防災教育や感染症対策の推進など安心・安全な学校づくりを進めている。(避難訓練、引き渡し訓練など)	A 防災教育や感染症対策の推進など安心・安全な学校づくりを進めている。(避難訓練、引き渡し訓練など)	A 防災教育や感染症対策の推進など安心・安全な学校づくりを進めている。(避難訓練、引き渡し訓練など)

令和6年度 学校評価書 (3点満点中2.5以上→A、 1.4以上→B、 1.4未満→C)

② 保幼小中の連携	16	子どもの校種間交流や教員の出前授業	幼稚園や、他の学年の友達などなかよく力を合わせて取り組んでいる。(たてわり活動、さくら会など)	A	たてわり活動や、子どもの校種間交流などを行い、連携を進めている。(たてわり活動、運動会、さくら会など)	A	たてわり活動や、子どもの校種間交流などを行い、連携を進めている。(たてわり活動、運動会、さくら会など)	A
	17	校種間の合同研修会	—	—	校種間の合同研修会が実施され、連携を進めている。(学びの礎など)	A	校種間の合同研修会が実施され、連携を進めている。(学びの礎など)	A
	18	校種間の授業公開、カリキュラム研究	—	—	校種間の授業公開、カリキュラム研究を進めている。	B	校種間の授業公開、カリキュラム研究を進めている。	B
① 生徒指導体制の充実	19	いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導 ※	友だちにいじわるやいたづらをしていない。	A	いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導を進めている。	B	いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導を進めている。	A
	20	生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進 ※	こまったことがあれば、おうちの人に相談している。	B	生徒指導・教育相談を組織的に推進をしている。(子ども支援コーディネーター、スクールカウンセラー)	B	生徒指導・教育相談を組織的に推進をしている。(子ども支援コーディネーター、スクールカウンセラー)	A
	21	家庭・地域・関係機関との連携による指導	①先生や友達、地域の人によくあひさつをしている。 ②地域の行事などに進んで参加している。	A	家庭・地域・関係機関との連携による指導を進めている。(朝の立当番・町別児童会・学校運営協議会)	A	家庭・地域・関係機関との連携による指導を進めている。(朝の立当番・町別児童会・学校運営協議会)	A
② 特別支援教育の充実	22	個別指導計画の作成と活用	—	—	個別指導計画の作成と活用を進めている。	B	—	B
	23	組織的・計画的な特別支援教育体制の確立	—	—	組織的・計画的な支援体制を進めている。	B	組織的・計画的な支援体制を進めている。	B
	24	関係機関と連携した相談体制の充実	—	—	関係機関と連携した相談体制の充実を推進している。(教育相談センター・スクールカウンセラーなど)	B	関係機関と連携した相談体制の充実を推進している。(教育相談センター・スクールカウンセラーなど)	B
学校満足度	25	児童生徒の学校満足度	学校は楽しい。	A	児童は、楽しく学校生活を過ごすことができている。	A	児童は、楽しく学校生活を過ごすことができている。	A

児童の評価は、「みんなで力を合わせて取り組む。」2.79点や「友だちと教え合ったり相談し合ったりして進んで学習に取り組んでいる。」2.76点が高かった。例年の音楽会、運動会に加え、今年度は、創立150周年記念式典が、児童により経験となった。式典での和太鼓の演奏や演劇に全校児童が出演した。大勢の前で話したり演じたりすることは、緊張して、力を発揮できないことが多いが、練習の積み重ねによって、子どもたちは、本番で堂々と発表し、多くの方から拍手や賞賛の声をいただき、大きな自信となった。また、日頃の授業で友だちと相談したり、考えを交流したり、タブレットを使ったりできるようになってきたことも成果である。一方で、「給食を好き嫌いせず食べる。」2.18点(昨年比-0.18)や「読書に進んで取り組んでいる。」1.98点(昨年比-0.1)は、昨年より低かった。給食の残食が多い日もあるので食育指導を充実させ、改善したい。読書に関しては、読み聞かせをしたり、図書室に新しい魅力的な絵本や図鑑などを購入したりしているが、図書委員会などがおすすめ本を紹介したり、各クラスで本に親しむ機会を意図的に設けたりすることで改善したい。保護者の評価は、全項目で昨年より上がった。特に「保護者・地域との交流や人材活用による体験活動を充実させ、情報発信している。」は2.73点と高かった。各学年の地域学習(ホテルの学習、菜の花漬け体験、里山米作り、紙漉きなど)を、地域や保護者の協力により実施し、学習発表会や集会で、児童が他学年や保護者、地域に情報発信できていることの現れだろう。「たてわり活動や子どもの校種間交流」も、2.75点と高かった。たてわり活動やさくら会(1年生⇄上田上幼稚園の5歳児)、55交流(5年生⇄正体ののはな保育園の5歳児)、小中交流(6年生⇄田上小学校6年生、田上中学校生徒会)など近くの校園との交流や他校とのオンライン(4年生⇄仰木小、葛川小)、(わかば学級⇄田上小・青山小)などは、本校の子どもたちにとって、コミュニケーション能力やリテラシーを育む貴重な経験になっているので今後も続けたい。最後に教職員の評価だが、「生命を尊重する心やいじめを許さない態度の育成など道徳的実践力を育てる活動に取り組む。」が最も高く、2.83点だった。関連して「いじめ、校内暴力、不登校などの早期発見、予防指導を進めている。」や「家庭、地域、関係機関との連携による指導を進めている。」は、2.75点だった。学校の安心安全に関わる項目なので今後もしっかり行いたい。「学力向上を目指した工夫改善を進めている。」「体力作りを推進する実践に取り組んでいる。」も2.75点だった。これらによって児童の学力、健康、体力を今後も育んでいきたい。一方「組織的・計画的な特別支援教育体制を進めている。」は、2.33点と低かったので、関係機関と連携して特別支援教育に力を入れていきたい。昨年度コロナが5類になり、始業式や入学式を体育館で全校で実施したり、音楽会や運動会で保育園・幼稚園・中学校と交流したりできた。また、PTAの親子清掃(除草作業)やほっとホットHOT(左義長)も天候にも恵まれ、多くの方々のご協力で無事に実施できた。次年度も、保護者・地域・近隣の学校園と連携して充実した教育活動を実施していきたい。